

人妖の狂宴

R18
ADULT ONLY



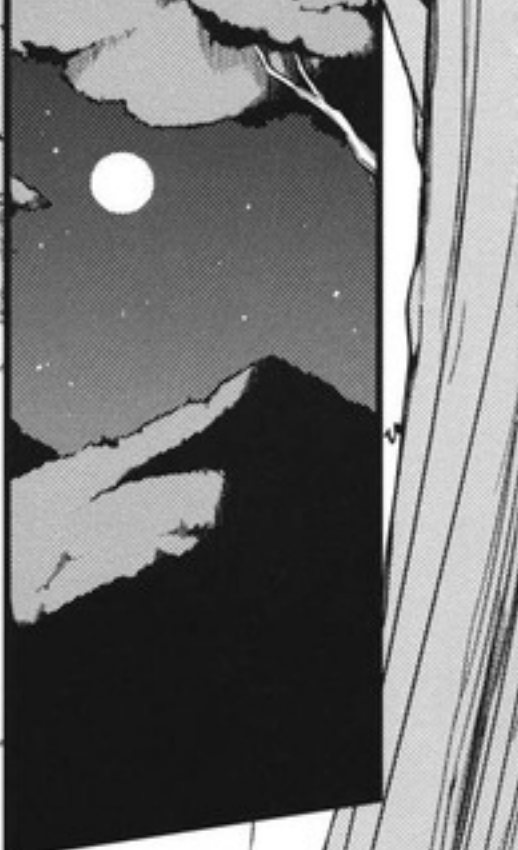
※こちらの同人誌は既刊「裏幻想郷Ⅳ・序」の内容を
含みます



以前よりそちらの教義に興味があったのだ
人と妖怪が差別なく暮らせる世界を
だっただか



このような夜分にお越しいただいて感謝して
ますわ
慧音先生



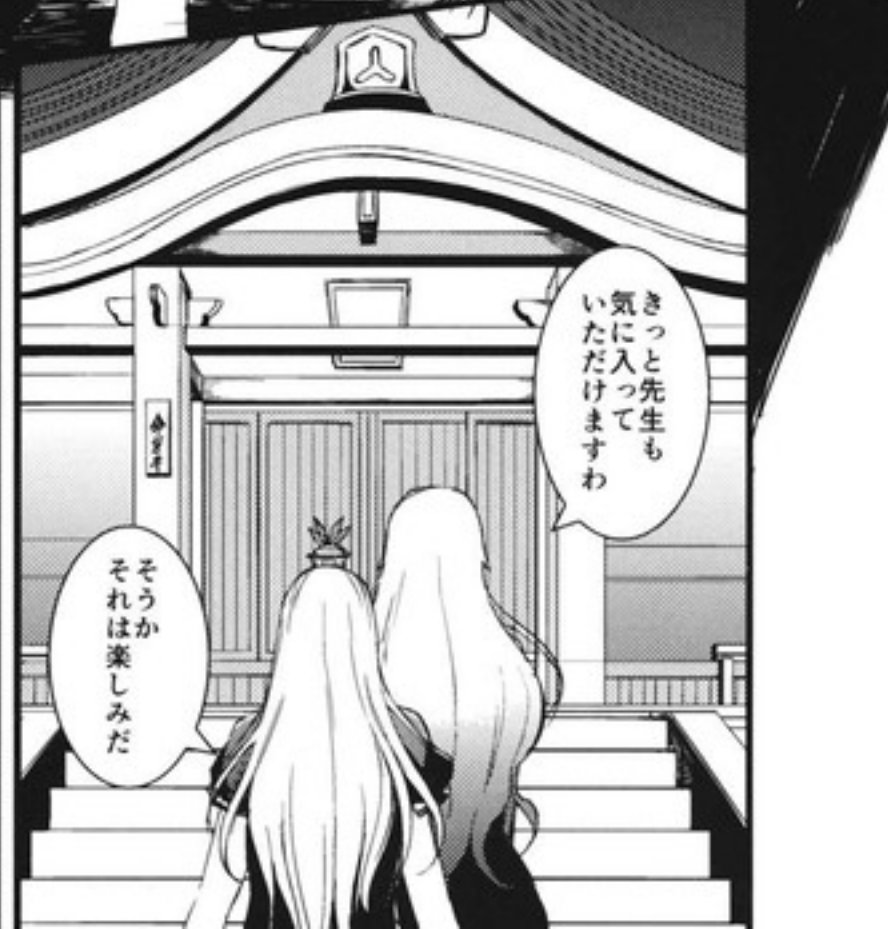
ええ、ですの
でぜひ慧音先生にも
集会に参加して
いただきたくて

いやこちらから
言い出したことだ
昼は授業で忙しくてな

そう、慧音先生は
妖怪人間問わず
学問を教えて
いらっしやいますものね



失礼す……



きっと先生も
気に入って
いただけますわ

そうか
それは楽しみだ





ズツ

はっ
あ

ハッ♡
深い♡♡

はぁあぁ
あぁん

はっ私♡
おまの♡
淫いでえ♡

ズツ
ズッ

ズツ



私、考えたんです
どうすれば人は
妖怪を恐れず
手を取り合えるのか

はい、これが
私達の「宴会」
ですわ

これが…
これがその
答えだと…？



そうです。人と
妖怪というくくりで
考えるからいけないの
ですわ

男と女
雄と雌



ここにいるのは
人と妖怪では
ありません

男女が同じ部屋に
いるのでしたら

することは
ひとつでしょう？



当たり前だろう！こんな
健全であるものか！

あら？

だからと言って
こんな……

不純、とでも
言いたげですね



そうでしょうか？

ふー

ふー

ふー

はた

はた

ふー

私は身体から始まる
関係だつてあると
思いますわ



確かに最初は
皆さん恥ずかし
がってらしたけど

今ではすっかり
打ち解けて

あんなに
アツアツ

ほら、あんなに
幸せそうでもの

ぐわんぐわん

もろもろ

もろもろ

もろもろ



そうそう
そんな頭ごなしに
否定するもんじゃ
ないぞい

はら
長く生きてりや
男の肌が恋しい
時だって
あるもんだ

あんたが思うほど
悪いもんじゃ
ありませんよ

特にうちらみたいに
長生きの妖怪は
刺激に飢えておるでな

はああん♡
精液きたあぁ♡

はら
たまにはこんな
爛れた日々も
悪くはない……ん

シユツ
シユツ
あ♡
ブルッ
ブキ
ブキ



おばあちゃんこの提案はそりや常識外れだけどさ

そーそー
いいじゃん
こういうのも

こうやって人間と向き合うことなんて私今まで無かったもんね



交尾もやってるうちにすっごい気持ちよくなってるって...



あら、それは
残念ですわ



どうもあなたと私の
考えは異なるようだの
ついでにあなたの思想には



あらもう
お帰り？

…失礼する！



…結界…？

でも折角
ですものん



もう少し

ゆっくりりして
行かれませんか？





慧音先生には是非ともうちの信徒になっていただきたいんです



せめてこの中では人と妖怪が対等な立場でいて頂かないと

ご明察♪ 妖怪と人が手を取り合うのですもの



身体が…重い？

グクラッ…

建物全体に…結界をっ



人であり妖怪でもある先生が教義に賛同していただけるならば

おや？

慧音先生にはありませぬか

なっ…

いつも飽きたがぶでちにさっす

なっ…

先生様の言葉をいつも聞いてはいますわ

教義を広めるこの上ない説得力になりますわ



どんな具合でしようか？

先生のキマコは



一緒に楽しませよう

ち、違う私は！

まさっせっかくいっしたんてす



人と妖の交わりは
決して異常などでは
ありません

博麗の巫女。
異常解決の
スペシャリスト。

それが真実ならば
あなたはとっくに
排除されてるのでは？

彼女が動くとき
異常の終わりは
確定する。

人と妖の
交わりではないと？

妖怪の血を引く
あなたが人里で
講義を行う行為は

でもそれは、
それが本当に
幻想郷を脅かす
異常であればの話。

「人は妖怪を退治する
ものであり、妖怪は
人を襲うものである」
でしたか

異変を解決した
ケースもあります
聞いています

当の巫女も
妖怪と協力して

交わりとは
何も体だけに
限りません

心も、関係も
等しく交わりです

つまり

人と妖の交わりは
幻想郷にとって
異変足りえない

私はそう
判断しました

そろそろお疲れて
しょうし、私とひとつ
賭けをしませんか？

賭け…
だと？

…でも
そうですね

慧音さんが来てから
今日で三日……
本日は集会の
最終日ですの

翌朝の日が昇ると
同時に命蓮寺の結界は
解かれますが

それまでにあなたの
お気持ちが変わらなければ
開放いたします

な……

いかがでしょう？

解放後は今後一切
あなたには
関わりません

……いいだろう

大丈夫だ……
大丈夫だ……っ！

家には外出の
書置きを
残してある

またイクラうら
オのフマンユカ

三日も留守にしていれば
妹紅がそろそろ気づいて
助けに来てくれる
はず……っ！

へっへ、この三日で
感度もずいぶん
よくなってるな

どら、ケツ穴の
味はどんなもんな

う、嘘だ
何をバカな

ひゃああっ

や、やめっ
きたないっ

ほーら
ケツマンコの
一丁あがりだあ

な……何だ
背中がソクソクして
気持ちいい……っ？

おーおー尻の穴も
なっつるじゃねえか



よっ……とー！

さーでそれじゃあこいつで本格的に開発してやる

ズッ
ズッ
ズッ

グッ

グッ

ああああああ

ズッ
ズッ
ズッ

尻が焼けるううう！

は、激しっ
尻が



んぐううっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



アッ♡
アッ♡

ケツ穴に根元までチンポ突っ込まれてそんな気持ちいいのか!?

俺のチンポにお前の腸壁がすげえ締め付けてくるぜっ



アッ♡
アッ♡



へっへ、雌の顔になつてきたなあ

最高にそそるぜ



ほら新しい精子だぞ! どんどん飲め!



おーおー
あちらは随分と
盛りあがったとの

すっすっ
すっすっ

ああってるうっ!
また射精ますううっ

どかん



...

しかし思いのほか
粘る...これは
もしかすると



少々相談したいことが
できてな...

なあ坊主、ちょっと
おじさん達を何人か
呼んできてくれんか

もうすぐ……
もうすぐなんだ……!

妹紅は
まだ来ない

あーっ！
またイッちゃうっ！

体は完全に
快楽に屈して
しまっている

あーっ！
あーっ！
あーっ！

……でも

外は白んできた
日の出はそう
遠くないはず……

だからそれまでの
我慢……っ!!

結界が解ければ
もはや相手の話など
聞く耳持たぬ

すぐに飛び出して
妹紅や巫女に
協力を仰ぐんだ

キッ気持ち
いっいっいっいっ！

あーっ！
あーっ！
あーっ！
あーっ！

あーっ！



朝よ早く来い!

早く来い!

早く!

オラッ
孕めえええ!

早くっ!

ひびくわん

私の心が...

あんな
あんな
早く来てくれないと
もうこれ以上は...

あ...さ...?

あああ
あああ
あああ



いつからだ？
ここにいた？



だって...
お前がこんな





だったら
私も……!!

わかったよ妹紅
それがお前の
望みなら……

さ、二人とも
そろそろ
続きしようか

そう……
もう耐える
必要なんで無い

ああ……
そうだな

さあ、どちらでも
好きなほうから
味わってくれ

共にこの地獄を
楽しもうか



ほおら、たっぷり
ぶちまけてやる！
しっかり孕めよお！

ああ、流れ込んでくる！
いろんな人のザーメンが
私の膈内で
暴れまわってるううう！

ドク
ドク
ドク

ドク
ドク
ドク

前も後ろも
チンポで

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

お、オチンポ
すごいいいいっ

来てっ

精液かけて！

私をもっと
穢してえ！



精液が降り落ちて
イフウウフウフウッ

はぁあぁん
精子きたあぁん



もっと
犯して...

せ...
せ...



あ...

は...



なあに
人を化かすは
狸の本領よ



さすがでしたわ
タイミングも
ばっちり!

なんの
お安い御用じゃ



お疲れ様



もちろん
信徒になつて
いただきますわ

これからどうする?
本物もそろそろ
彼女の留守に
気づくぞい



夜明けで
力が戻るの
は

自分だけでは
ないことを
失念していた
ようでした



姿だけでは
人を騙すには
至らない

彼女の一番油断する
タイミングは夜明けだと
踏んでおった



妹紅さんを
迎え入れるお手伝いを
していただきますわ

END.

当然
慧音さんにも



でない
と慧音さんが
可哀想ですもの

あとかきのようなもの。

このたびは本を手にとって頂きありがとうございます。
準備号をはさんだりと色々長引かせてしまった本ですので
できる限りの要素を詰め込みたかったのですが、
突然のぎっくり腰やPC不良に見舞われ
詰め込む要素を泣く泣く限界まで削り取る羽目になりました。

それでも伝えたいことは描ききれたと思いますので
少しでもお楽しみいただけたら幸いです。
とりあえず本来入るはずだった白蓮さんのエロシーンを
描けなかった事は最大の悔いとなりました。
またどこかの機会に白蓮本など出せたらいいですね。
ライダースーツエロいよ。

それでは締め切り近いのでこれにて失礼します。
またどこかのイベントにてお会いしましょう。

kojouでした。

奥付

誌名:人妖の狂宴(裏幻想郷IVより改題)
発行日:2016/05/08
発行者:kojou
印刷:くりえい社様

mail:kojou_00@yahoo.co.jp
blog:<http://yumenoshima2.blog.fc2.com/>
pixiv ID:13948

禁無断転載

TOHO Project Fan book
JUNK×JUNK presents